

2018年 マダガスカル・へき地奮闘旅行記

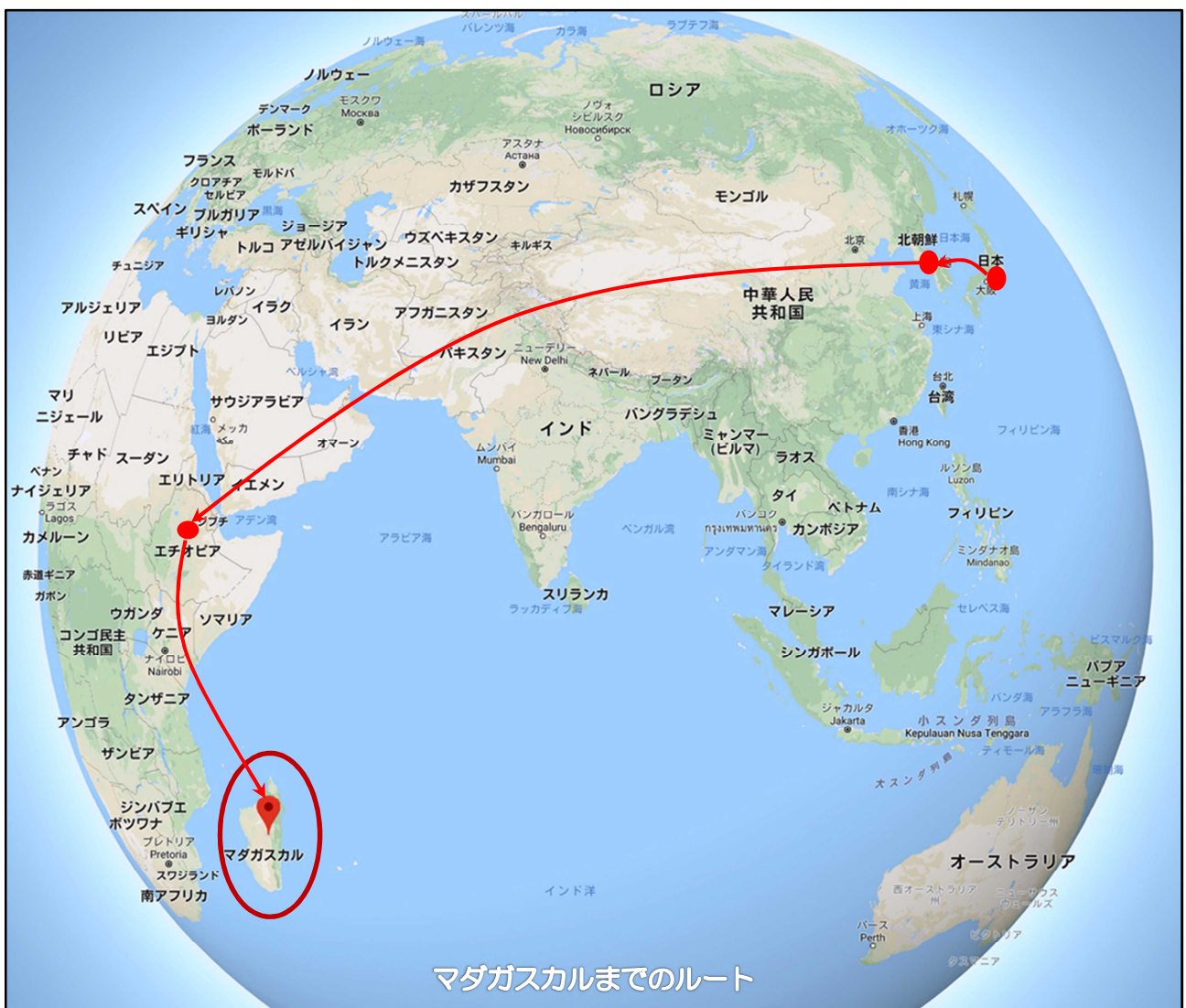
旅行期間 2018/10/10~10/26 記:河北義弘

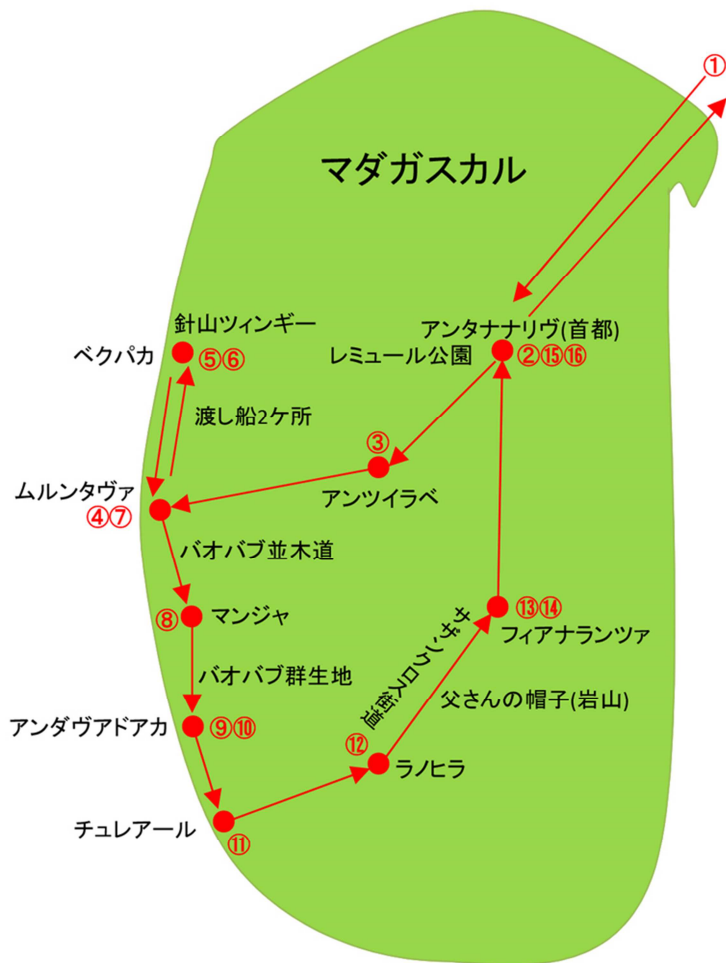


筆者(河北義弘)

10月10日から26日まで、17日間
アフリカの東にあるマダガスカルに行ってきました。

日本からマダガスカルまでのルートは、中部国際空港→成田空港→仁川空港（韓国）→アディスアベバ空港（エチオピア）→アンタナナリヴ（マダガスカル）で、乗り継ぎ時間を除き、実飛行時間は約20時間でした。疲れました。





マダガスカル島内のルートは図に示す通り、首都のアンタナナリヴを起点に、②～⑯の順に移動しました。○の中の数字は、日本出発からの旅行日数を示します。

4WD に乗って移動する毎日で、内陸部は舗装されていますが、海岸周辺は悪路の連続で、道路の深い輪立ちによる大きな横揺れには、思わず笑うしかない程、ひどい状態でした。

この国は非常に貧しくて、歩いて移動する人が多く、子供は上半身裸も多く、車を停めると寄ってきて物乞いをし、何か渡すと更に多くの子供が寄ってくるので、安易に渡すことができませんでした。白人が子供達を一行に並ばせて、筆記用具を渡そうとする場面に遭遇しましたが、子供達の嬉しそうな表情が印象的でした



現地の水は絶対飲めなくて、歯磨きもペットボトルの水が必須でした。ある時、出された食事の野菜（トマト）を食べた際、現地の水で洗った水滴が付いていたのか、下痢になって体調を崩したメンバーは16人中10人のありさまで、一週間余り大変でした。

マダガスカルはバオバブの木、針山のツィンギー、キツネザル等で有名ですが、今回のツアーコースでしか見られない、多くの種類のバオバブと群生したバオバブを見ることができ、その夕陽に映えるシルエットが心に残る旅でした。



さて、島内の移動のルートと旅行日数に基づき、旅の印象を紹介します。

[1・2日目]

夜、成田空港を出発、韓国ソウル経由、エチオピアのアディスアベバ空港で乗り継ぎ、マダガスカルの首都アンタナナリヴに到着。

[3日目]

アンタナナリヴ観光後、サザンクロス街道の中継地アンツイラベまで移動。

[4日目]

内陸部のアンツイラベは、標高1200~1500mのため、気温20℃前後で涼しかったですが、向かった海岸近くの町ムルンタヴァでは、38~40℃の真夏の暑さでした。

ここでは、双子のバオバブやバオバブの並木道で夕陽が沈むのを待って、幻想的な夕陽に染まるバオバブの並木道を見ることができました。



[5日目]

ここから悪路の始まりです。2カ所の川に橋が無いので、渡し船に乗って渡りますが、2カ所目の渡し船で積み込んだ4WDの車に追突され、川に落ちそうになるハプニングがありました。なんと、同行者がその瞬間を撮影していました。



[6日目]

針山のツィンギーの観光をしました。海の石灰岩が隆起して雨で削られて針山ができたとのこと。

落下防止の為、ロープにハーネスを着けて急坂を登り降りしなければならない吊り橋がありました。



ツインギーの吊り橋

[7日目]

5日目の渡し船で2つの川を渡り、ムルンダヴァに戻りました。ここで巨大な聖なるバオバブや2つのバオバブが絡み合い、男女が抱き合っているような、愛し合うバオバブを見ました。



聖なるバオバブ



愛し合うバオバブ

一般的なマダガスカル旅行では、この後内陸に戻るのですが、今回のツアーのコースは、南下していく希なコースでした。

[8日目]

午前中は、ピローグ（丸木船）に乗って島の漁村を訪問しました。



ピローグ（丸木船）

午後は、マンジャに向かう途中、小さな集落に入る前に木のバーが道を塞ぎ、通行税を徴収する関所みたいなのが3ヶ所ありました。

マンジャの宿泊は、便座のないトイレ、壁がはがれ、クモの巣が張っていて、ゴキブリやアリがウヨウヨしている大変な宿でした。

[9日目]



悪路の輪立ち

悪路が輪立ちになっており、1日中大きく揺られて移動。1台も対向車が無い程のへき地でした。

[10日目]

内部が空洞のバオバブ、雷で半分が崩落した聖なるバオバブ(儀式をするまで写真撮影禁止)、入れ墨のバオバブ(病気になっていて表面がまだら模様になっているとのこと)を見ました。



入れ墨のバオバブ



内部が空洞のバオバブ



バオバブ登る筆者



落雷で崩壊のバオバブ

バオバブを登っていたら、怪我をするからやめなさいと云われて途中で断念しましたが、その後、女性達5人が登って記念撮影。

登っていたらよかったのに後悔しまくりでした。

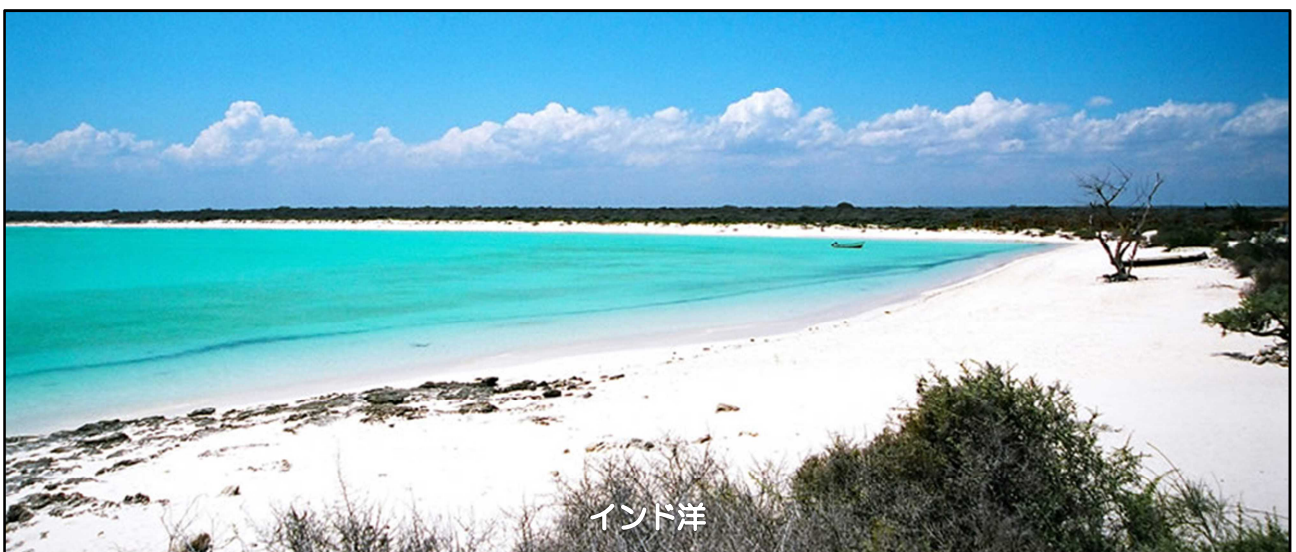
バオバブ群生地の夕陽に染まる光景が圧巻でした。



バオバブの群生地の夕陽

[11日目]

チュレアールで、インド洋の美しい海を見ました。



インド洋

[12日目]

悪路からようやく解放され、舗装道路となりました。ここから首都アンタナナリヴまで、サザンクロス街道と呼ばれる街道を北上しました。

[13日目]

サザンクロス街道を通る時、後方に「父さんの帽子」と呼ばれる岩山を見ることができました。



「父さんの帽子」の岩山

[14日目]

ラヌマファナ国立公園のジャングルで、キツネザル等の動物を探すハイキングをしました。高い木の上にいるキツネザルを目でようやく見つけても、カメラで撮影しようとしたら、どこだったか分からなくて、撮影がうまくできませんでした。



キツネザル

[15日目]

首都のアンタナナリヴに戻りました。

[16日目]

レミュール公園で、キツネザル等を見ました。



その後空港に向かい、帰国の途につきました。